

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑨【仲間や地域とのつながり】 幼児や高齢の人々・障がいのある人々等と一緒に生活している地域社会において、互いに支え合う仲間の大切さや地域の方々のありがたさを実感する。 ⑩【ボランティア】 他の人や地域社会に役立つことを自分から進んで実践し、他人の喜びを自分の喜びとして実感する。 ⑬【地域づくり】 郷土の伝統行事・郷土芸能、温かい人のつながりのある社会、安全なまちを願い、地域づくりにかかわる。	生徒会活動

【題材】

ボランティア活動
郷土芸能

【実践の概要】

(1) 全校ボランティア

ア ねらい

生徒会活動で年間複数回にわたって取り組むボランティア活動に任意で全ての生徒が参加し、地域や八幡平市及び県内の福祉活動を実践することにより、地域や他の人のために自分の力を役立てようとする気持ちを育む。

イ 具体的活動

- ・ 独居高齢者暑中見舞い ・ 福祉施設訪問 ・ 幼児施設訪問
- ・ 資源回収 ・ 独居高齢者年賀状 ・ 赤い羽根街頭募金

ウ 活動計画

期日	活動（訪問先）	参加者
5月	体育祭「岩手山山伏神楽」	保存会
7月	独居高齢者暑中見舞い デザイン募集～作成～配達	全校
7月	資源回収	6割
7月	福祉施設、学童クラブ訪問	3割
8月	夏祭り「寺田さんさ踊り」	保存会
10月	文化祭「野口鹿踊り」	保存会
11月	赤い羽根街頭募金	8割
12月	校内赤い羽根募金	役員
12月	独居高齢者年賀状	全校
～1月	スノーパスターズ	地区

エ 留意点

地域の方々への感謝の気持ちや、関わる人々への思いやりの気持ちを育み、自分の行動が人のために役立っていることを実感させる。



【振り返り】

○初めはあまり参加したくなかったけど、葉書を書いているとその人のことを思って気持ちが温かくなった。暑中見舞いを書いて読んでくれたかなと考えると楽しかった。人の役に立てることはうれしいと思った。 ○自分がやっていて楽しいとかおもしろそうと思ってやったことだけど、それが人の役に立つのであればこれからまた違うボランティアを頑張ろうと思った。 ○資源回収をしていて「ありがとう」とか「ごころうさん」と声をかけられるとうれしかった。ボランティアは活動した人も心が温まるものだと思った。 ○資源回収をすると、各家庭のゴミが減る訳なので、きれいになり、人が気持ちよく過ごせるためにもなると思った。 ○自転車で空き缶を運んでいると偉いねえと言われた。もっとたくさんの方が資源回収に参加すれば、雰囲気もいい地域になると思う。 ○高齢者の施設に行っておばあさん達に気を使わせてしまったことです。次は相手の気持ちを考えてお世話したいです。 ○窓ふきやベッドの片付け等の手伝いをしているときはとても大変だったけど、「ありがとう」とか笑顔を見るとやって良かったなと思いました。 ○小さい子どもの世話をするのは楽しかった。自分も地域のいろいろな人にお世話になったのだなと思った。

(2) 郷土芸能



野口鹿踊り (西鈴祭)



保存会の皆様・小学生とともに



岩手山山伏神楽 (体育祭)



寺田さんさ踊り (福祉施設夏祭り)

【振り返り】

○はじめは、少し人の目が気になっていたのですが、続けていくうちに人に見られても気にならずにできるようになりました。私は鹿を担当します。皆さんに喜んでもらえるとうれしいです。 ○いろいろなところで発表して、お年寄りや障がいのある人や地域の方々とふれあうことができました。子どもからお年寄りまで多くの方が楽しめる郷土芸能はすごい力があるし、大切にしていきたいと思いました。

【感想】

○中学生は部活動などで忙しいから保存会でずっと練習している子は少ないけど、指導者が高齢になってきて次を託す気持ちで教えています。体育祭や文化祭で発表できると、練習に加わってやる仲間が増えていき、とても良いことだと思います。(保存会代表) ○笑顔で踊っている中学生から、元気ももらっています。入所している方も、今日のお祭りに来た家族の方々もみんな喜んでます。(福祉施設所長) ○この練習を教えたりお世話したりしている地域の人、発表を見る地域の人、中学生と一緒にやっていることをうれしいと思っている。だから、関わっている大人達も頑張れるのだと思う。(保存会世話人)